

富山高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	ビジネス環日本海諸国語(中国語)	
科目基礎情報							
科目番号	0174			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	馮誼光他『グループ方式で学ぶ中国語中級編』東方書店、配布する資料						
担当教員	海老原 毅						
到達目標							
1. 中国の経済・ビジネスに関する基本的な中国語の用語と表現を理解できる。 2. 中国の経済・ビジネスに関する基本的な中国語文章を読解できる。 3. 中国の経済・ビジネスに関する状況について中国語を使って表現できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	中国の経済・ビジネスに関する基本的な中国語の用語・表現を十分に理解できる。			中国の経済・ビジネスに関する基本的な中国語の用語・表現を理解できる。		中国の経済・ビジネスに関する基本的な中国語の用語・表現を理解できない。	
評価項目2	中国の経済・ビジネスに関する基本的な中国語文章を十分に読解できる。			中国の経済・ビジネスに関する基本的な中国語文章を読解できる。		中国の経済・ビジネスに関する基本的な中国語文章を読解できない。	
評価項目3	中国の経済・ビジネスに関する状況について中国語を使って十分に表現できる。			中国の経済・ビジネスに関する状況について中国語を使って表現できる。		中国の経済・ビジネスに関する状況について中国語を使って表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1							
教育方法等							
概要	学生が中国とビジネス面で関わるために必要な中国語能力を習得するとともに、その背景となる中国経済・ビジネスの現状に対する理解力を養う。						
授業の進め方・方法	いくつかの具体的な分野ごとに、主に以下の作業を行う。①各分野に関する基本的な中国語用語・表現を学び、その背景を理解する。②各分野の基本的な中国語文章を読解する。③関連する応用的な中国語文章を読解し、それについて中国語で表現する。						
注意点	・【授業改善策】受講生の理解が深まるよう、授業内容及び関連資料を充実させる。 ・本科目は学修単位であるため、家庭学習の着実な実行が求められる。内容は予習・復習の他、授業内に行う発表や質疑応答の事前準備、レポート作成に関わる作業等である。これらの実施を示す提出物を求めるので、留意すること。 ・評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にとっては、その評価を60点とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、中国の地方行政区		シラバスを通して、本科目の概要を理解できる。中国の地方行政区を説明できる。		
		2週	第2課 中国の経済 (1)		中国の経済に関する中国語の用語・表現、背景を理解できる。		
		3週	第2課 中国の経済 (2)		中国の経済に関する基本的な中国語文章を読解できる。		
		4週	第2課 中国の経済 (3)		中国の経済に関する応用的な文章を読解できる。		
		5週	第2課 中国の経済 (4)		中国の経済に関する現状について中国語を使って表現できる。		
		6週	第2課 中国の経済 (5)		中国の経済に関する現状について中国語を使って表現できる。		
		7週	第2課 中国の経済 (6)		中国の経済に関する現状について中国語を使って表現できる。		
		8週	第12課 中国の環境問題 (1)		中国の環境問題に関する中国語の用語や表現、背景を理解できる。		
	2ndQ	9週	第12課 中国の環境問題 (2)		中国の環境問題に関する基本的な中国語文章を読解できる。		
		10週	第12課 中国の環境問題 (3)		中国の環境問題に関する応用的文章を読解できる。		
		11週	第12課 中国の環境問題 (4)		中国の環境問題について中国語を使って表現できる。		
		12週	第10課 中国の地域格差と流動人口 (1)		中国の経済格差・流動人口に関する中国語の用語・表現、背景を理解できる。		
		13週	第10課 中国の地域格差と流動人口 (2)		中国の経済格差・流動人口に関する基本的な中国語文章を読解できる。		
		14週	第10課 中国の地域格差と流動人口 (3)		中国の経済格差・流動人口について中国語を使って表現できる。		
		15週	期末試験				
		16週	試験返却・解説、成績評価・確認				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	課題・レポート	小テスト	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	5	25	10	0	0	100

基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	60	5	25	10	0	0	100